コースを設計しよう

DESIGN COURSE

SCHOOLRISE.JP

School Rise

table of contents

1. 受講生の課題・悩みを想像する PAGE 3

2. 受講生のゴールを明確にする PAGE 4

3. 対象者を決める PAGE 5

4. 受講生をイメージする PAGE 6

5. 受講期間・サポートを決める PAGE 7

6. アウトラインを作成する PG #

1. 受講生の課題/悩みを想像する

Problem

受講生はどんなことに悩んでいますか？
どんな課題を持っていますか？

例）動画づくりを学びたいけど何から進めたらいいか分からない

GOAL 01	
GOAL 02	
GOAL 03	
GOAL 04	
GOAL 05	
GOAL 06	

2. 受講生のゴールを明確にする

Goal

この講座を受けると、受講生は何ができるようになりますか？
受講生が達成できる目標は何ですか？
3ー6個書き出してみましょう。

例）Adobe Premier Proを使って動画編集の仕事ができるようになる

GOAL 01	
GOAL 02	
GOAL 03	
GOAL 04	
GOAL 05	
GOAL 06	

3. 対象の受講生を決める

Target

この講座は、どのような受講生が対象ですか？
どんな人に受けて欲しいですか？
受講生はどんなことを求めていますか？

例）動画編集未経験の方・Premiere Proをマスターしたい方

AUDIENCE 01	
AUDIENCE 02	
AUDIENCE 03	
AUDIENCE 04	
AUDIENCE 05	
AUDIENCE 06	

4. 受講生をイメージする

ここまで書き出したあなたの受講生はどんなひとかイメージしてみましょう。
マーケティング用語で「ペルソナ」と言います。ペルソナは奥が深いため、
ここではざっくりと頭の中で浮かんだ人を書いてみましょう。

職業・年代・性別
（例　会社員・20-40代・男女）

趣味・興味
（例　YOUTUBE・映画）

チャレンジしたいこと
（例　動画編集・副業）

ペルソナとは（Wikipediaより引用）
”企業が提供する製品・サービスのもっとも重要で象徴的なユーザモデルのこと。”

5. 受講期間・サポートを決める

受講生はどれぐらいの期間でコースを終了できますか？
個別サポートがある場合、受講生はどんなサポートが受けられますか？

SCHEDULE

コースの受講期間
例）7日間・1カ月間

SECTION TITLE HERE

サポート1
例）Zoom個別レッスン

SECTION TITLE HERE

サポート2
例）LINE個別相談

6. アウトラインを作成する

講座の全体像・ゴールを書き出して明確にしていきましょう

STEP1. セクションを分ける

受講生が学べること・ゴールを、
5-10個のセクション（大項目）に分ける。

多くても10個まで。10個以上になる場合には、初中級・上級などに分けましょう。

STEP2. レクチャー毎のゴールを決める

レクチャー（中項目）毎のゴール・学べるスキルを明確にする。

ゴール1つ = レクチャー1つを意識してつくりましょう。

03. コンテンツの種類を決める

それぞれのレクチャーは、どんなコンテンツの種類（動画・PDF教材・エクセル・小テスト・課題）か決める。

6. アウトラインを作成する

セクションの中に、3-7個のレクチャーを作っていきましょう
1レクチャー＝1ゴールを意識してください。
コンテンツは、動画・PDF教材・エクセル・小テスト・課題などから選びます。
迷うときは仮決めして、後で変更していきましょう。

第一章（セクション）：

レクチャー	コンテンツの種類

第二章（セクション）：

レクチャー	コンテンツの種類

6. アウトラインを作成する

第三章（セクション）：	
レクチャー	コンテンツの種類

第四章（セクション）：	
レクチャー	コンテンツの種類

6. アウトラインを作成する

第五章（セクション）：	
レクチャー	コンテンツの種類

第六章（セクション）：	
レクチャー	コンテンツの種類

You did it!

コースの設計ができました！

それでは、ティーチャブルでの講座づくりを始めましょう。